

2023年12月5日
公益財団法人イオン環境財団

第1回 SATOYAMA フォーラム開催

里山が持つ新たな価値創造＝ネイチャーポジティブとウェルビーイング

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役 会長 以下当財団）は、京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学の5大学と
合同で、12月12日（火）国連大学ウ・タント国際会議場にて「第1回 SATOYAMA
フォーラム」を開催します。

当財団は、1990年の設立以来、植樹をはじめとした環境活動を通じ、時代に即した地
球環境課題に取り組んで参りました。近年は、持続可能な社会の実現に向け、里山について
も、大学や専門機関と連携し、地域が求めるイオンならではの里山づくりを行っております。

この度のフォーラムは、当財団が連携している各大学が、人と自然との共生をもとに地域
コミュニティと連携し、里山・里海をフィールドとした、生物多様性や自然資本、健康増進
など、様々なアプローチで新しい価値を創造するものです。また、2030年までに生物多
様性の損失を食い止め、回復させる30by30の目標に向け、ネイチャーポジティブとウ
ェルビーイングについての観点からも考えるフォーラムとなっています。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後も新たな里山づくりを
はじめとする環境活動に積極的に取り組んで参ります。

【概要】

- ・ テー マ 里山が持つ新たな価値創造＝ネイチャーポジティブとウェルビーイング
- ・ 開催日時 2023年12月12日（火）
 - 第1部 10：00～12：30
 - ・ 基調講演
 - ・ パネルディスカッション
 - 第2部 13：30～16：00
 - ・ 各大学からの成果発表
 - ・ パネルディスカッション
- ・ 開催場所 国連大学 3階 ウ・タント国際会議場およびオンライン
- ・ 参加大学 京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学（五十音順）
- ・ 主 催 公益財団法人イオン環境財団
- ・ 後 援 環境省・国連大学サステナビリティ高等研究所・
SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ

以上

ご参考

【SAITOYAMAフォーラム申込方法】

以下のいずれかの方法からお申込みください。

i AEONアプリ



二次元バーコード



イオン環境財団ホームページ : <https://www.aeon.info/ef/>

イオン環境財団

検索

■申込締切日

12月 8日（金）会場参加の場合

12月12日（火）オンライン参加の場合

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【これまでのイオン環境財団と各大学との主な取組み】

■イオン未来の地球フォーラム

イオン未来の地球フォーラムは、地球環境の変化やそれに伴って生じる問題の解決方法、実行策を考えるためのシンポジウムです。第1回は東京大学武田ホール、第2回～第4回は東京大学安田講堂、第5回はオンラインにて開催いたしました。参加者の皆さまとともに、現在発生している環境課題について共有し議論をしてまいりました。5年間で、のべ40名のスピーカーが登壇し、約3,800名の皆さまが参加しました。

■イオン東大里山ラボ 里山シンポジウム

当財団と東京大学未来ビジョン研究センターは、自然と調和した健全な人間社会を目指し、新たな里山づくりにチャレンジすることを目的に、2022年3月に「イオン東大里山ラボ」を設立しました。

第1回シンポジウムは2022年3月15日、第2回シンポジウムは2023年2月4日に開催し、里山の活動とフレイル予防活動を連携させることによって、健康で幸福な長寿生活が地域貢献に結びつき、最終的に地域の持続可能性を創出するモデルについて議論しました。

■AEON TOWA リサーチセンター 里山シンポジウム

当財団と早稲田大学環境総合研究センターは、時代に即した環境課題の解決を目的に、2020年に「AEON TOWA リサーチセンター」を設立しました。

第1回シンポジウムは2022年3月16日、第2回シンポジウムは2023年1月19日に開催し、「多世代で語る共に育つ里山」をテーマに、里山について、大学生・専門家が、各活動地での研究で得た知見をもとに、活動地の自治体関係者を交えて議論しました。



第2回イオン東大里山ラボ
里山シンポジウム



第2回 AEON TOWA リサーチセンター
里山シンポジウム